

めざせ省エネ達人

～日常生活のかくれたエコをさがせ～

第1回：家族団らん

ID 059394

生活習慣を見直してアクションを始めることが、省エネ達人への第一歩。まずはあなたのエコレベルを確認しましょう。
環境政策課/TEL674-7486

スタート

お風呂に入るタイミングは
家族みんなバラバラだ

お風呂の温度が下がらないよう、
保温シートを活用している

はい →
いいえ →

食事以外の時間は
自室で過ごすことが多い

就寝・起床時間帯が
家族そろってほしい同じだ

家族でのお出かけには
車をよく使う

誰も見ていないテレビが
ついていることがよくある

エコレベル上級 ★★★

あなたこそ、真の「省エネ達人」
です。今後は周りの人も巻き込んで、
エコの輪を広げましょう

エコレベル中級 ★★

まずは、小さいアクションから。
あなたをきっかけに、ムーブメントが
巻き起こるかも

エコレベル初級 ★

まずはワンアクションから。
地球の未来を救うのは、あなた
かもしれません

アドバイス

「省エネ」と聞くと、電化製品の使用頻度や時間を減らしたり、最新の家電を使ったりというイメージを持ちますが、家族との時間を大切に過ごすことも、実は省エネでエコな行動の一つです。「省エネ」と「家族団らん」の両立で、心も体もお財布も温めましょう。

たかつき歴史アラカルト 103

高槻城跡の工兵隊

明治40（1907）年、陸軍の戦力増強に伴い、京都・伏見にあった工兵第四大隊は、新たな本拠地を探すことになりました。新聞報道で、高槻町（当時）が候補地であることが分ると、地元では誘致の機運が高まりました。

町の中心の高槻城は、明治4（1871）年の廃藩置県後に廃城となり、石垣石などを鉄道建設に用いるため建物や石垣は失われました。その後、城跡はさびれたままで、明治時代後期になっても大部分が田畑か野原でした。和歌山市も誘致運動に熱心だったことから、高槻町では用地を買収し、陸軍へ献納することにしました。町

会（議会）に土地献納議案が提案された際の理由書には「高槻町は廃藩以降年々衰退し、他に物産もなく、人口が減少して商工業者は苦境である。工兵隊誘致に成功すれば、町は将来にわたり発展し、往年のようになる」とあり、厳しい現状と誘致への期待がうかがえます。高槻町は約1万㎡の土地を献納し、高槻への移転が決定しました。後に、献納に対して政府から三枚重ねの金杯一組が贈られました。

明治42（1909）年3月、工兵第四大隊が高槻城跡に設けられた兵営に移転してきました。現在の高槻城公園や第一中学校、しろあと

歴史館がある一帯に司令部や兵舎、倉庫が建ち、府立槻の木高校から高槻城公園芸術文化劇場にかけては練兵場（訓練場）となりました。現在も、高槻城公園の北側入口近くに工兵隊の正門と歩哨舎（門番の兵士の詰所）が残り、記念碑が建っています。

（しろあと歴史館）



現存する正門と歩哨舎